

第105回 本仁田山

第6支部 (株)オ オ イ

大井 泰典

2022年10月22日(土) 曇り時々晴れ

10月22日(土)、東塗商ハイキング同好会による本仁田山ハイキングが実施されました。天気は曇り時々晴れ。

本仁田山は、鷹ノ巣山の稲村岩尾根、六ツ石山の榛ノ木尾根と並んで奥多摩三大急登の一つに数えられる大休場尾根の登行があります。

当日、奥多摩観光案内所に立ち寄り、登山状況の確認・アドバイス・詳細の地図等もいただきました。

午前9時30分にJR青梅線奥多摩駅集合。今回の参加者は、石井さん、高橋さん、原夫人、山本さん、私(大井)の5名でした。

奥多摩駅より、古い巨大な工場を見ながら進んでいきました。北氷川橋を渡るところで、色づき始めた紅葉と溪流の景色が重なって素晴らしかったです。氷川国際マス釣場の景観も奥多摩らしく良かったです。しばらく舗装された道を進んでいきますと、後ろから2人の外国人の方が現れ、原夫人とお話をしていました。

そうこうするうちに、本仁田山登山口です。ここから急な登りが続きます。平らな道はなく、ひたすら登り続けました。1時間半ほど登ったところで、皆さんヘトヘトになりまして、長めの途中休憩をとりました。原夫人から皆さんにおいしいリンゴの差し入れがあり、しばらく雑談を楽しみました。このリンゴタイムが本仁田山攻略のカギとなりました。皆さんすっかり息を吹き返し、再スタートする事が出来ました。とは言うものの、再び厳しい登りが続きました。時折、手も使いながら登って行きました。すれ違いのハイカーから‘気をつけて登って下さい’と声もかけられました。

リンゴタイムから1時間程で本仁田山山頂に到着。そこには素晴らしい富士山の眺めが待っていました。奥多摩の山々の中でも、本仁田山から見る富士山はとても美しいと思いました。頂上は狭かったのですが、我々を含め3組のハイカーしかおらず、ゆったりと昼食を楽しむことが出来ました。石井さんからの黒ビールをはじめ、皆さんから差し入れがあり、急登クリヤの達成感もあり、大いに盛り上がりました。隣の70歳代ハイカーとも情報交換を行ないました。長めに昼食休憩をとって、出発となりました。

下山は、急な所もありましたが平らな尾根道もあり、苦勞なく下って行くことが出来ました。特に瘤高山からの下りは見晴らしも良く、御岳山と日の出山を眺めながら快適なものでした。

所々、花も咲いており、原夫人から花の名前を教えていただきながら進みました。1時間半程で大根山の神に到着、最後の休憩となりました。そこから30分程で鳩ノ巣駅に到着、電車で御嶽駅へ向かいました。原夫人とは、ここでお別れとなりました。

御嶽駅では、お馴染みの蕎麦屋「玉川屋」で打上げとなりました。20～30分程お店の前で待っていたところ、地元のお爺さんから声をかけられました。最近、御嶽溪谷に熊が出没した話や鹿が駐車中の車を傷つけてしまった話などを聞きました。同じ東京でも、都心と奥多摩ではずいぶん環境が違うものだと感じました。入店後、お店のオススメメニューである蕎麦焼酎・蕎麦ビールなどで乾杯。もつ煮や天ぷら、冷たいお蕎麦を楽しみました。そして御嶽駅にて解散となりました。

今回は、健脚向きの厳しいハイキングでしたが、皆さんめげずに頑張りました。色々な人も出会い、会話もしたりして楽しいハイキングとなりました。皆さん、大変お疲れさまです。